

(様式第10号) (第53条、第54条の2、第55条関係)

施工状況等報告書

平成29年 7月31日

長野県知事 阿部 守一 殿
松本市長 菅谷 昭 殿
山形村村長 本庄 利昭 殿
朝日村村長 中村 武雄 殿

住 所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号
氏 名 東京電力パワーグリッド株式会社
代表取締役社長 金子 禎則
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県環境影響評価条例第32条第1項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対 象 事 業 の 名 称	飛驒信濃直流幹線新設工事事業
報 告 対 象 期 間	平成29年 4月 1日から 平成29年 6月30日まで
環境の保全のための措置の状況	詳細は別紙添付資料の通り
対 象 事 業 の 実 施 状 況	6月12日から工事を着手し、鉄塔敷地及び 工事用地内の伐採工事を実施中である。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	ササユリ	移植	6 月 13 日に対象事業実施区域内に生育する 2 個体の移植を実施した。	写真ササ -1～3
	ボクロ ヒトツ	マーキング	5 月 17 日に工事用通勤路付近に生育する個体が新たに確認されたため、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真ヒト -1, 2
	ベニバナヤマ シヤクナゲ	移植	6 月 13 日に対象事業実施区域内に生育する 17 個体の移植を実施した。	写真ベニ -1～3
	ボタン属 の一種	マーキング	5 月 17 日に工事用通勤路付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真ボタ -1, 2
	イワアカザ	マーキング	6 月 30 日に工事用通勤路付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真イワ -1, 2
	オオヤマ カタバミ	マーキング	6 月 30 日に工事用通勤路付近に生育する個体が新たに確認されたため、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真カタ -1, 2
	キョウマル シヤクナゲ	穂木採取及び 挿し木等	<p>5 月 10 日に保全措置が必要な個体について事前に確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計 23 個体のキョウマルシヤクナゲが対象事業の伐採による影響を受ける範囲に生育していることを確認した。 <p>6 月 28 日に 102 本の穂木を採取し、栽培地に持ち帰った。うち 71 本は今年伸びた先端の枝を採取したもので、うち 31 本は地際の茎からの発根を含めて採取したものである。</p> <p>また、今後実施予定の取り木のため、生育地で 18 本の伏せ取り木と 27 本の高取り木の施術を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰った穂木のうち、41 本はアカボンシヤクナゲに接ぎ木施術を行い、61 本は挿し木として栽培地に植えた。 	写真キョ -1
				写真キョ -2～6

植物	ヒヨクソウ	マーキング	6月30日に工事用通勤路付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真ヒヨ -1,2
	ウツボ ケヤマ	マーキング	5月17日に工事用通勤路付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真ケヤ -1,2
動物・生態系	Aつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月23～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計6回出現し、とまりや誇示飛翔が確認された。	写真クマA -1
			5月20日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	—
			6月14～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計5回出現し、つがいが確認された。	写真クマA -2
			6月22日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	—
	Dつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月23～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計21回出現し、つがいが出現したほか、昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマD -1
			6月11～13日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計32回出現し、つがいが出現したほか、昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマD -2
	Eつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月21～22日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計40回出現し、とまりや誇示飛翔が確認された。	写真クマE -1
			4月23日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・クマタカの出現が集中した箇所新たな巣を確認したが、繁殖している痕跡は無かった。	写真クマE -2
			5月16日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・4月に確認された巣を再確認したが、繁殖している痕跡は無かった。	写真クマE -3
			6月11～13日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計32回出現し、誇示飛翔や餌運びが確認された。	写真クマE -4
			6月21日に営巣場所を特定するための観察を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	—
	Fつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月20～22日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・観察により繁殖中の巣が特定された。 ・合計11回出現し、巣内で抱卵するメスや周辺でオスの飛翔が確認された。	写真クマF -1
			5月16日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内で抱雛するメスと10日齢程度の雛1個体が確認された。	写真クマF -2
			6月14～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計7回出現し、餌運びや巣内の雛への給餌が確認された。	写真クマF -3
6月22日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内に55日齢程度の雛1個体が確認された。			写真クマF -4	

動物・生態系	G つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月20～22日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計9回出現し、とまりや誇示飛翔が確認された。昨年産まれたの幼鳥は確認されなかった。	写真クマG-1
			5月15日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内に1卵が確認された。	写真クマG-2
			6月14～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計14回出現し、つがいが確認された。	写真クマG-3
			6月20日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内に35日齢程度の雛1個体が確認された。	写真クマG-4
	H つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月23～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計6回出現し、営巣地周辺でオスが確認された。	—
			5月15日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内に雛や卵は確認できなかったが、青葉が確認され、巣には羽毛が付着していた。	写真クマH-1
			6月11～13日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計15回出現し、つがいが出現したほか誇示飛翔が確認された。	写真クマH-2
			6月20日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内に雛は存在せず、羽毛・糞等の痕跡も見られなかった。本年の繁殖は途中で失敗したと判断した。	写真クマH-3
	A つがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月20～21日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・1回出現し、オスの飛翔が確認された。	—
			5月17～18日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
			5月18日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・全ての既知の巣で繁殖は行われておらず、周辺で新たな巣も特定されなかった。	写真オオA-1～3
			6月11～12日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
			6月22日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	—
	B つがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	4月22～23日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計3回出現し、オスの飛翔が確認された。	—
			5月15～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
			5月18日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣のうち、平成26年に繁殖利用した巣で繁殖しており、抱卵行動が確認された。	写真オオB-1
			6月13～14日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
			6月22日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内に15日齢程度の雛3個体が確認された。	写真オオB-2

動物・生態系	Dつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月24～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計3回出現し、オスの飛翔が確認された。	—
			5月17～18日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計5回出現し、広範囲に飛翔が確認され、狩りや誇示飛翔が確認された。	写真オオD-1
			5月17日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われておらず。周辺で新たな巣も特定されなかった。	写真オオD-2
			6月15～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計11回出現し、誇示飛翔や狩りが確認された。	写真オオD-3
			6月20日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	—
動物	ハチクマ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	5月19～20日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計3回出現し、広範囲に飛翔が確認され、誇示羽が確認された。	—
			6月22～23日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計12回出現し、複数個体の飛翔が広範囲に確認され、誇示飛翔が見られた。	写真ハチ-1,2
	ツミ	繁殖を示唆する行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で、確認調査を実施した。 ・合計5回出現し、餌運びが確認された。	—
	ハイタカ	繁殖を示唆する行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で、確認調査を実施した。 ・合計19回出現し、餌運びが確認された。 ・餌運びが確認された付近の2箇所繁殖中の巣を特定した。	写真ハイ-1,2
動物・生態系	本州中部亜種 ゴマシジミ	奈川のゴマシジミ生息地の保全	5月19～20日にゴマシジミの寄主アリであるハラクシケアリの調査を実施した。 ・合計21箇所ハラクシケアリの巣を確認した。	写真ゴマ-1,2
			6月9日に奈川地区地域づくりセンターへ、ワレモコウ等の移植場所についてご意見を伺った。	—
			6月29～30日にゴマシジミの寄主アリであるハラクシケアリの調査を実施した。 ・合計15箇所ハラクシケアリの巣を確認し、5月調査と合わせて、合計36箇所となった。 ・奈川地区地域づくりセンターから要望のあった場所でもハラクシケアリの巣が確認された。	写真ゴマ-3,4
動物	本州中部亜種 ヒヨモンチョウ	個体数の確認	6月29～30日にヒヨモンチョウの確認調査を実施した。 ・ヒヨモンチョウは確認されなかった。	—

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-1
	撮影日	平成 29 年 6 月 13 日
	移植前の確認状況	
	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-2
	撮影日	平成 29 年 6 月 13 日
	移植先への移植状況	
	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-3
	撮影日	平成 29 年 6 月 13 日
	移植完了後の状況	

	保 全 対象種	ヒトツボクロ
	写 真 番 号	ヒトー1
	撮影日	平成 29 年 5 月 17 日
	工事中通勤路で新たに確認された 個体	
	保 全 対象種	ヒトツボクロ
	写 真 番 号	ヒトー2
	撮影日	平成 29 年 5 月 17 日
	マーキング設置状況	
	保 全 対象種	ベニバナヤマシャクヤク
	写 真 番 号	ベニー1
	撮影日	平成 29 年 6 月 13 日
	移植前の確認状況	

	保 全 対象種	ベニバナヤマシャクヤク
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	平成 29 年 6 月 13 日
	移植先への移植状況	
	保 全 対象種	ベニバナヤマシャクヤク
	写 真 番 号	ベニ-3
	撮影日	平成 29 年 6 月 13 日
	移植完了後の状況	
	保 全 対象種	ボタン属の一種
	写 真 番 号	ポター-1
	撮影日	平成 29 年 5 月 17 日
	工事用通勤路に生育する個体	

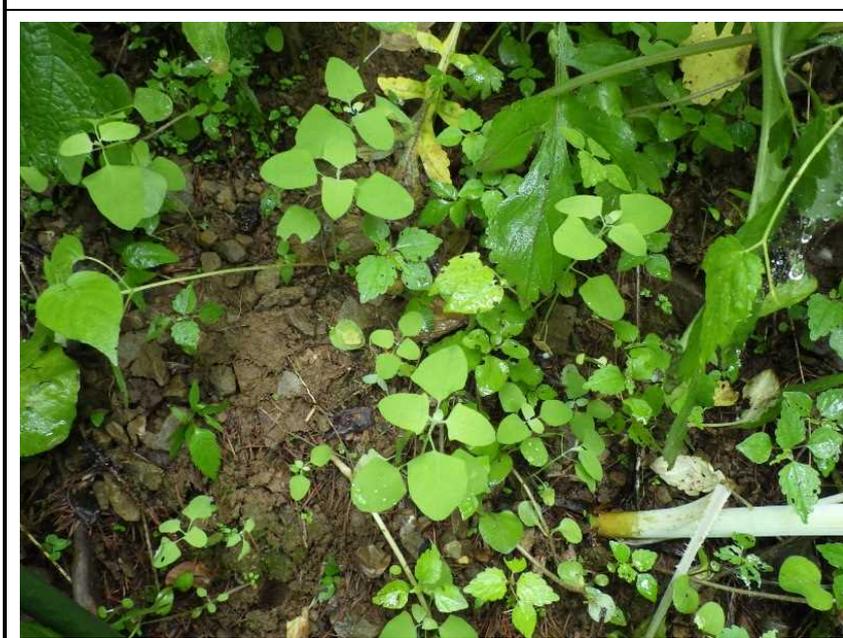


保全対象種	ボタン属の一種
-------	---------

写真番号	ボター-2
------	-------

撮影日	平成 29 年 5 月 17 日
-----	------------------

マーキング設置状況

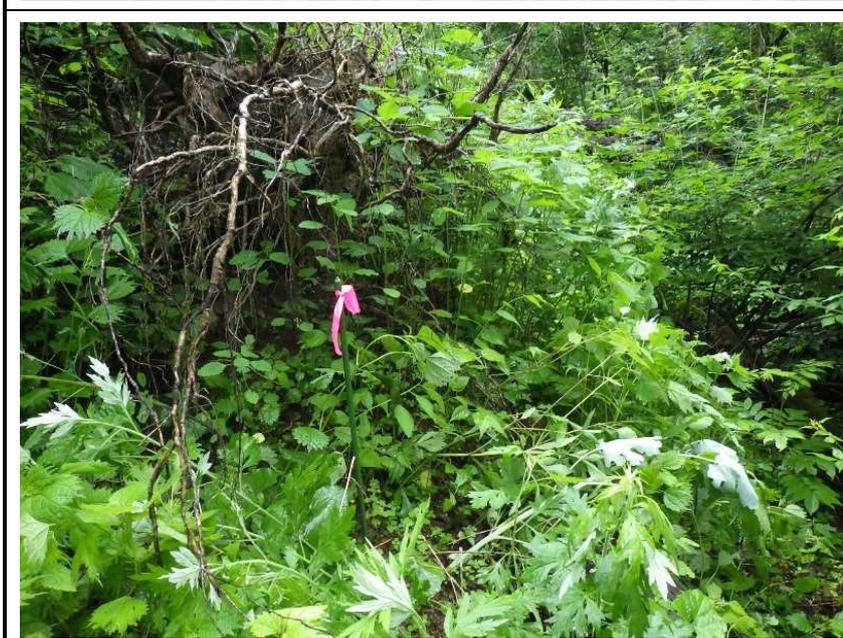


保全対象種	イワアカザ
-------	-------

写真番号	イワー-1
------	-------

撮影日	平成 29 年 6 月 30 日
-----	------------------

工事用通勤路に生育する個体



保全対象種	イワアカザ
-------	-------

写真番号	イワー-2
------	-------

撮影日	平成 29 年 6 月 30 日
-----	------------------

マーキング設置状況



保 全 対象種	オオヤマカタバミ
------------	----------

写 真 番 号	カタ-1
------------	------

撮影日	平成 29 年 6 月 30 日
-----	------------------

工事中通勤路で新たに確認された
個体



保 全 対象種	オオヤマカタバミ
------------	----------

写 真 番 号	カタ-2
------------	------

撮影日	平成 29 年 6 月 30 日
-----	------------------

マーキング設置状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョ-1
------------	------

撮影日	平成 29 年 5 月 10 日
-----	------------------

事前確認した個体



保 全
対象種 キョウマルシヤクナゲ

写 真
番 号 キョー2

撮影日 平成 29 年 6 月 28 日

採取した穂木（一部）

地際の茎から発根がみられたものは、水苔を巻き付け、乾燥を防ぐためビニールラップで包んだ。



保 全
対象種 キョウマルシヤクナゲ

写 真
番 号 キョー3

撮影日 平成 29 年 6 月 28 日

伏せ取り木施術の状況

地際の茎から発根がみられた個体を対象とし、さらに発根を促すため、茎を寝かせ、発根部を土で覆った。



保 全
対象種 キョウマルシヤクナゲ

写 真
番 号 キョー4

撮影日 平成 29 年 6 月 28 日

高取り木施術の状況

勢いの良い枝を選定し、発根させる部分を環状剥皮した後、水苔を巻き付け、乾燥を防ぐためビニールラップで包み、紐で固定した。



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョー5
------------	------

撮影日	平成 29 年 6 月 29 日
-----	------------------

接ぎ木栽培の状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョー6
------------	------

撮影日	平成 29 年 6 月 29 日
-----	------------------

挿し木栽培の状況



保 全 対象種	ヒヨクソウ
------------	-------

写 真 番 号	ヒョー1
------------	------

撮影日	平成 29 年 6 月 30 日
-----	------------------

工事用通勤路に生育する個体

	保 全 対象種	ヒヨクソウ
	写 真 番 号	ヒヨ-2
	撮影日	平成 29 年 6 月 30 日
	マーキング設置状況	
	保 全 対象種	ケヤマウツボ
	写 真 番 号	ケヤ-1
	撮影日	平成 29 年 5 月 17 日
	工事用通勤路に生育する個体	
	保 全 対象種	ケヤマウツボ
	写 真 番 号	ケヤ-2
	撮影日	平成 29 年 5 月 17 日
	マーキング設置状況	

	保 全 対象種	クマタカAつがい
	写 真 番 号	クマA-1
	撮影日	平成 29 年 4 月 24 日
	クマタカAつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカAつがい
	写 真 番 号	クマA-2
	撮影日	平成 29 年 6 月 14 日
	クマタカAつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカDつがい
	写 真 番 号	クマD-1
	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日
	クマタカDつがいの昨年産まれの 幼鳥	

	保 全 対象種	クマタカDつがい
	写 真 番 号	クマD-2
	撮影日	平成 29 年 6 月 11 日
	クマタカDつがいの昨年産まれの 幼鳥	
	保 全 対象種	クマタカEつがい
	写 真 番 号	クマE-1
	撮影日	平成 29 年 4 月 22 日
	クマタカEつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカEつがい
	写 真 番 号	クマE-2
	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日
	新たに確認された古巣 繁殖痕跡はなかった	



保 全
対象種 クマタカEつがい

写 真
番 号 クマE-3

撮影日 平成 29 年 5 月 16 日

再確認した古巣
4 月同様に繁殖痕跡はなかった



保 全
対象種 クマタカEつがい

写 真
番 号 クマE-4

撮影日 平成 29 年 6 月 11 日

クマタカEつがいのメス



保 全
対象種 クマタカFつがい

写 真
番 号 クマF-1

撮影日 平成 29 年 4 月 21 日

クマタカFつがいの繁殖巣
抱卵するメス

	保 全 対象種	クマタカFつがい
	写 真 番 号	クマF-2
	撮影日	平成 29 年 5 月 16 日
クマタカFつがいの繁殖巣		
メスと胸に抱かれる雛		
	保 全 対象種	クマタカFつがい
	写 真 番 号	クマF-3
	撮影日	平成 29 年 6 月 14 日
クマタカFつがいのメス		
	保 全 対象種	クマタカFつがい
	写 真 番 号	クマF-4
	撮影日	平成 29 年 6 月 22 日
クマタカFつがいの繁殖巣		
55日齢程度の雛1個体を確認		



保 全 対象種	クマタカGつがい
------------	----------

写 真 番 号	クマG-1
------------	-------

撮影日	平成 29 年 4 月 20 日
-----	------------------

クマタカGつがい
左側がオスで右側がメス



保 全 対象種	クマタカGつがい
------------	----------

写 真 番 号	クマG-2
------------	-------

撮影日	平成 29 年月日
-----	-----------

クマタカGつがいの繁殖巣
巣内に 1 卵を確認



保 全 対象種	クマタカGつがい
------------	----------

写 真 番 号	クマG-3
------------	-------

撮影日	平成 29 年 6 月 14 日
-----	------------------

クマタカGつがいのオス



保 全
対象種 クマタカGつがい

写 真
番 号 クマG-4

撮影日 平成 29 年 6 月 20 日

クマタカGつがいの繁殖巣
35日齢程度の雛1個体を確認



保 全
対象種 クマタカHつがい

写 真
番 号 クマH-1

撮影日 平成 29 年 5 月 15 日

クマタカHつがいの繁殖巣
巣内に青葉があり、巣には羽毛が付着していた



保 全
対象種 クマタカHつがい

写 真
番 号 クマH-2

撮影日 平成 29 年 6 月 13 日

クマタカHつがいのオス



保 全 対象種	クマタカHつがい
写 真 番 号	クマH-3
撮影日	平成 29 年 6 月 20 日
クマタカHつがいの繁殖失敗後の 巣	
巣内に雛は存在せず、羽毛・糞等の 痕跡も見られなかった	



保 全 対象種	オオタカAつがい
写 真 番 号	オオA-1
撮影日	平成 29 年 5 月 18 日
オオタカAつがいの巣	
繁殖は行われていなかった	



保 全 対象種	オオタカAつがい
写 真 番 号	オオA-2
撮影日	平成 29 年 5 月 18 日
オオタカAつがいの巣	
繁殖は行われていなかった	



保 全
対象種 オオタカAつがい

写 真
番 号 オオA-3

撮影日 平成 29 年 5 月 18 日

オオタカAつがいの巣
繁殖は行われていなかった



保 全
対象種 オオタカBつがい

写 真
番 号 オオB-1

撮影日 平成 29 年 5 月 18 日

オオタカBつがいの繁殖巣
抱卵するメス



保 全
対象種 オオタカBつがい

写 真
番 号 オオB-2

撮影日 平成 29 年 6 月 22 日

オオタカBつがいの繁殖巣
15日齢程度の雛3個体を確認

	保 全 対象種	オオタカDつがい
	写 真 番 号	オオD-1
	撮影日	平成 29 年 5 月 18 日
確認されたオオタカのオス		
	保 全 対象種	オオタカDつがい
	写 真 番 号	オオD-2
	撮影日	平成 29 年 5 月 17 日
オオタカDつがいの巣 繁殖は行われていなかった		
	保 全 対象種	オオタカDつがい
	写 真 番 号	オオD-3
	撮影日	平成 29 年 6 月 16 日
確認されたオオタカのオス		

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチー1
	撮影日	平成 29 年 6 月 23 日
	確認されたハチクマのメス	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチー2
	撮影日	平成 29 年 6 月 23 日
	確認されたハチクマのオス	
	保 全 対象種	ハイタカ
	写 真 番 号	ハイー1
	撮影日	平成 29 年 7 月 5 日
	ハイタカの繁殖巣 雛 1 個体を確認	



保全対象種	ハイタカ
写真番号	ハイ-2
撮影日	平成29年7月5日

ハイタカの繁殖巣

雛1個体を確認



保全対象種	ゴマシジミ 本州中部亜種
写真番号	ゴマ-1
撮影日	平成29年5月19日

ハラクシケアリの巣の状況



保全対象種	ゴマシジミ 本州中部亜種
写真番号	ゴマ-2
撮影日	平成29年5月19日

確認されたハラクシケアリ



保 全 対象種	ゴマシジミ 本州中部亜種
------------	-----------------

写 真 番 号	ゴマー3
------------	------

撮影日	平成 29 年 6 月 29 日
-----	------------------

奈川地区地域づくりセンターから
要望のあった場所

土手でハラクシケアリの巣が確認
された



保 全 対象種	ゴマシジミ 本州中部亜種
------------	-----------------

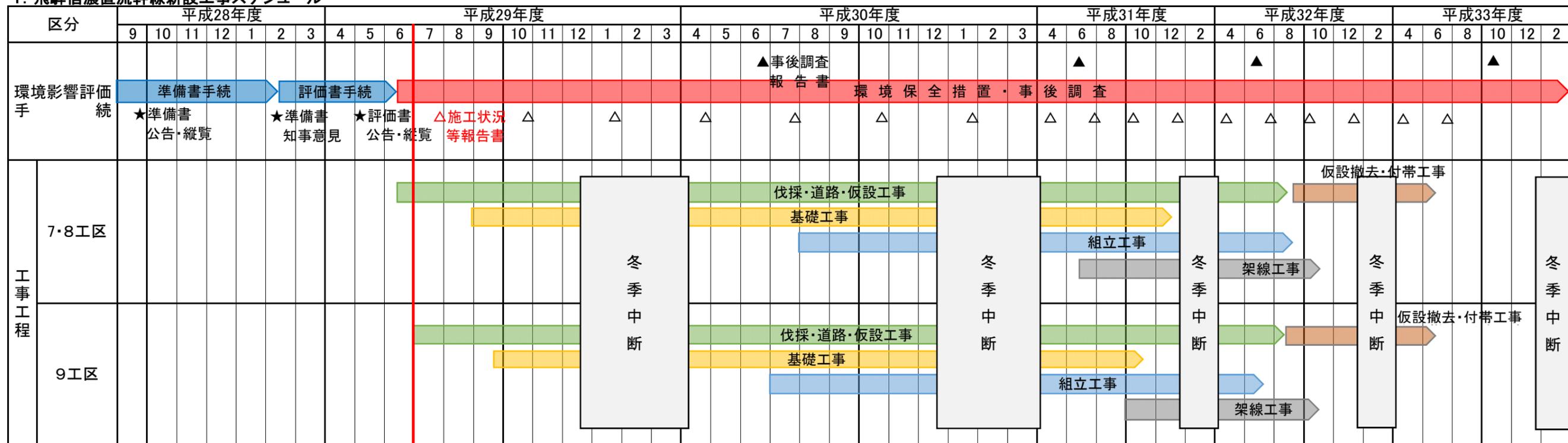
写 真 番 号	ゴマー4
------------	------

撮影日	平成 29 年 6 月 30 日
-----	------------------

ワレモコウに登るハラクシケアリ

施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 飛騨信濃直流幹線新設工事スケジュール

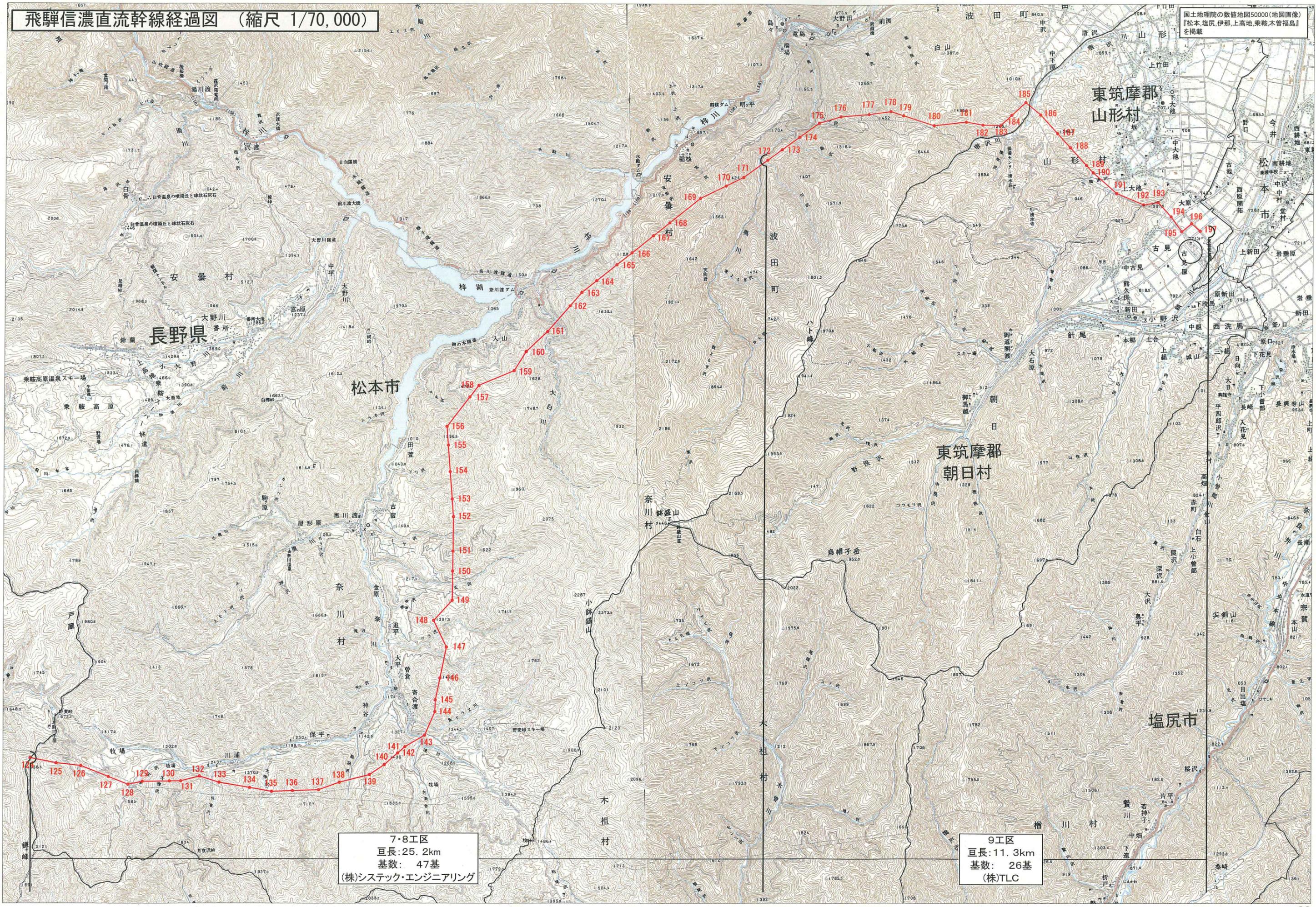


2. 対象事業の実施状況一覧

年 度	平成29年度				平成30年度				
	回数	第1回報告	第2回報告	第3回報告	第4回報告	第5回報告	第6回報告	第7回報告	第8回報告
	報告対象期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	10月～12月
実施状況	平成29年6月12日、伐採工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県に提出した。								
※詳細は別紙「工事実施箇所一覧表」による	[工事状況] ・7・8工区 工事中2基 ・9工区 工事中0基								
年 度	平成31年度				平成32年度				
	回数	第4回報告	第5回報告	第6回報告	第7回報告	第4回報告	第5回報告	第6回報告	第7回報告
	報告対象期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
実施状況									
※詳細は別紙「工事実施箇所一覧表」による									

飛騨信濃直流幹線經過図 (縮尺 1/70,000)

国土院の数値地図50000(地図画像)
『松本,塩尻,伊那,上高地,乗鞍,木曾福島』
を掲載



7・8工区
 亘長: 25.2km
 基数: 47基
 (株)システック・エンジニアリング

9工区
 亘長: 11.3km
 基数: 26基
 (株)TLC

○:工事中 ●:工事完了

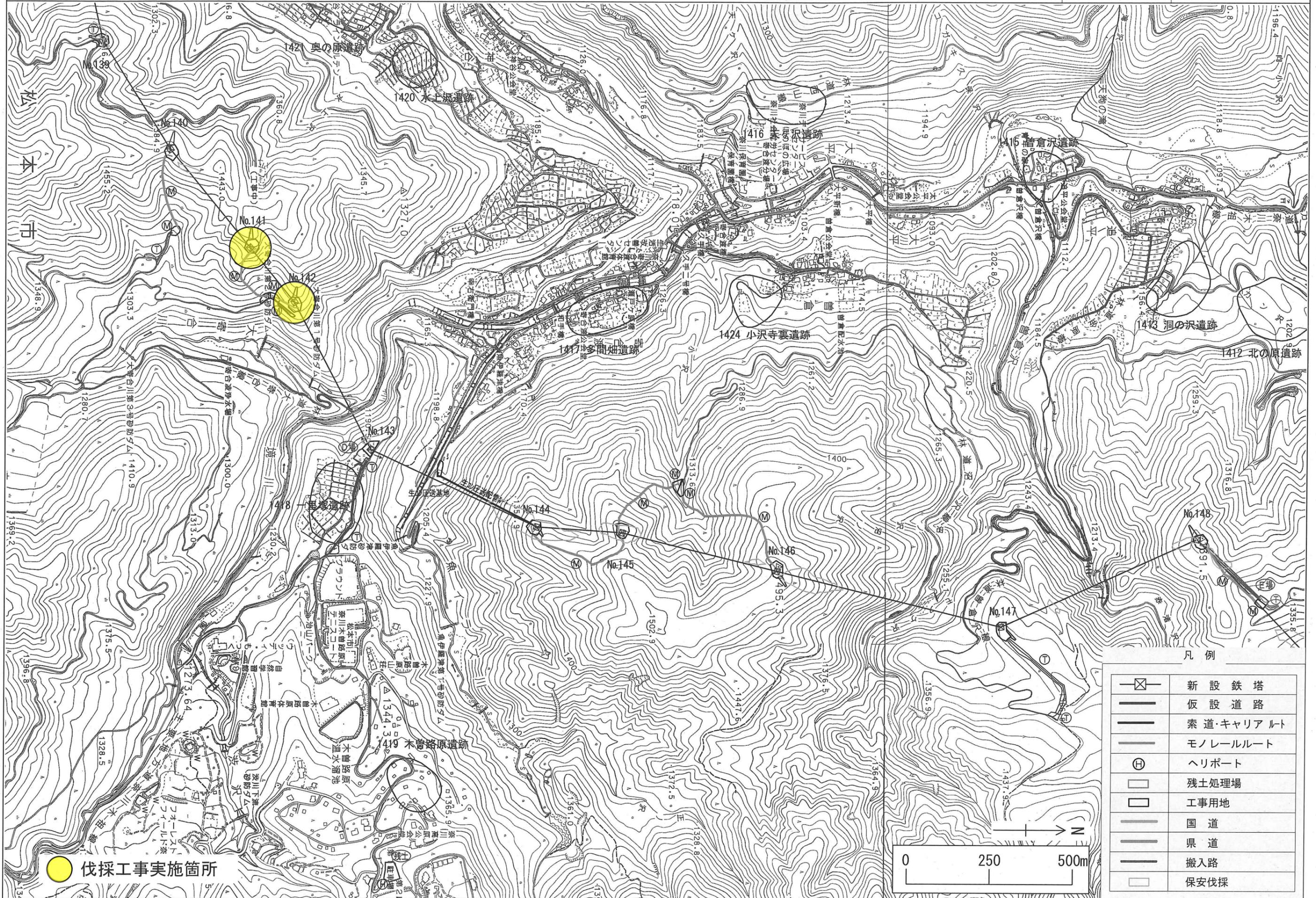
鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考	
125		—								
126						↑				
127		—								
128										
129										
130										
131										
132		—								
133										
134										
135							↓			
136						↑				
137										
138										
139										
140		—								
141	○									
142	○	—								
143							↓			
144							↑			
145										
146										
147										
148		—				↓				
149						↑				
150										
151										
152										
153										

○:工事中 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
154									
155									
156									
157									
158						▼			
159						▲			
160									
161									
162									
163									
164									
165						▼			
166						▲			
167									
168									
169									
170									
171		—							
172		—				▼			

○:工事中 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
172						↑ ↓			
173									
174									
175									
176									
177		—							
178		—							
179		—							
180		—							
181		—							
182		—							
183		—							
184									
185		—							
186									
187									
188									
189									
190		—							
191									
192									
193									
194		—							
195		—							
196		—							
197		—							



● 伐採工事実施箇所

凡例

	新設鉄塔
	仮設道路
	索道・キャリアート
	モノレールルート
	ヘリポート
	残土処理場
	工事用地
	国道
	県道
	搬入路
	保安伐採